



今の時期の牛呼吸器病に気を付けましょう！

牛の呼吸器病症候群（BRDC：Bovine Respiratory Disease Complex）は、病原微生物とストレス等による免疫状態の変調が複雑に絡み合っ発生し、各地で被害をもたらしています。病原微生物ですが、細菌では *Pasteurella multocida*、*Mannheimia haemolytica*、*Histophilus somni*、*Arcanobacterium pyogenes*、マイコプラズマでは *Mycoplasma bovis*、ウイルスでは IBR、RS、PI3、BVD が知られています。その中でも *M.haemolytica* と RS ウイルスは病原性が強く、単独であっても死亡するケースも少なくないため、特に注意が必要です。

発生時期ですが、一般的に呼吸器病にはウイルス感染が絡むことが多いため、冬季に集中しています。それ故に冬季以外は油断しがちになってしまいますが、**実は今の時期も意外と呼吸器病の発生が多いのです。**5月の管内（豊橋調べ）では、**一日の気温差が10℃以上あった日が19日間もあり（下図）、その際には牛に大きなストレスがかかってしまい免疫力が低下するため、ウイルスをはじめとした呼吸器病の発生リスクが高まります。****実際、今年の5月にRSウイルスが関与したと考えられる呼吸器病が発生しています。**

ワクチンや抗生剤で予防することはもちろん大切ですが、牛にストレスのかからない環境作りを心がけ、呼吸器病の発生リスクを低減させましょう。

【2016年5月気温（豊橋調べ）】

